



介護事業所が事業成長の為に理解しておくべき

マーケティングの「基本プロセス」

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）



介護経営ドットコム



株式会社ケアモンスター

代表取締役 田中 大悟

社会福祉士・介護支援専門員



職歴

1998年 医療法人 整形外科病院 MSW (名古屋市)
 (22-28歳) 老人保健施設 支援相談員 (老健施設：2施設の開設に関わる)
 (28-30歳) 居宅介護支援事業所 管理者兼 介護支援専門員

2006年 社会福祉法人 特別養護老人ホーム (石川県小松市)
 (30-31歳) 経営企画室：生活相談員 兼 介護支援専門員

2007年 医療法人 脳神経外科病院 (石川県金沢市)
 (31-35歳) 地域連携室主任 MSW / 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 兼務
 地域連携室の立上 / 退院支援・退院調整 / 病診連・病病連窓口 (紹介状管理・データ化)
 回復期病棟立上げ / 病院機能評価対応 /
 ベッドコントロール (医師の入退院の予定と実績のデータ化) / 医療経営を学ぶ

2011年 医療法人 小規模診療所 理事 / MS法人 取締役 (石川県小松市)
 (35-38歳)
 小規模診療所を中心とした地域包括ケアシステムの構築をテーマに下記介護事業の開設・運営を行う
 住宅型有料老人ホーム：3事業 / 訪問介護：1事業 / 居宅介護支援事業：1事業
 通所リハビリ：1事業 / 訪問看護：1事業 / 訪問リハビリ：1事業 / 通所介護：7事業
 認知症共同生活介護：1事業

2014年 合同会社JAPAN UNITED HOME CARE 設立
 (38歳～) たなかだいご介護・福祉相談室 開設 (独立型社会福祉士事務所)
 居宅介護支援事業所の運営・コンサル事業・セミナー事業

2018年11月 株式会社ケアモンスター 代表取締役 (社名変更)
 今の福祉事業の概念を壊しながら、「新しい価値」と「新しい仕組み」を創造する！！

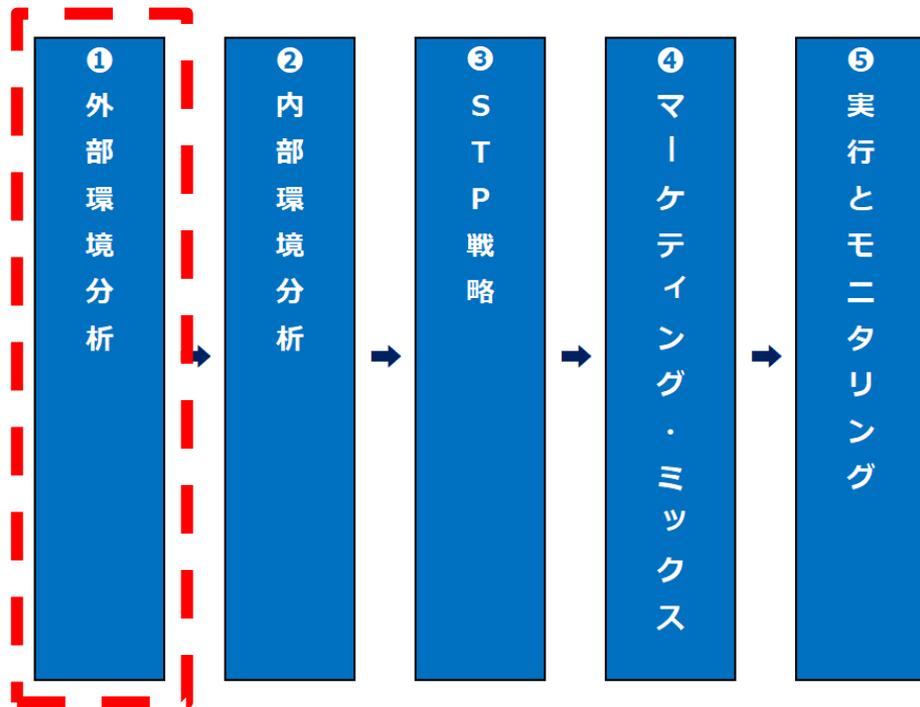
2012年09月 (石川県) 加賀脳卒中地域連携協議会 理事

2013年12月 日本介護福祉経営人材教育協会 北信越支部 理事

2017年03月 日本デイサービス協会 監事

著書2017年1月 介護施設での生活相談員の仕事 (ナツメ社)

1章：外部環境分析編の研修内容の項目



1章：外部環境分析編

【研修内容の項目】

1-1：国が描くビジョンの理解

1-2：時流の理解

1-3：ルールを理解

1-4：地域の理解

目次

はじめに	5
1：地域の人口動態	6
2：競争社会の現実	7
3：差別化と効率化	11
おわりに	17

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

はじめに

なぜ、**時流の理解**が必要なのか

進化論を唱えたダーウィンは、この世に生き残る生き物は、
「最も力の強いものか。」「そうではない。」
「最も頭のいいものか。」「そうでもない。」
「それは、**変化に対応できる生き物だ!**」という考えを示したと言われています。

【介護サービス事業所を取り巻く変化】

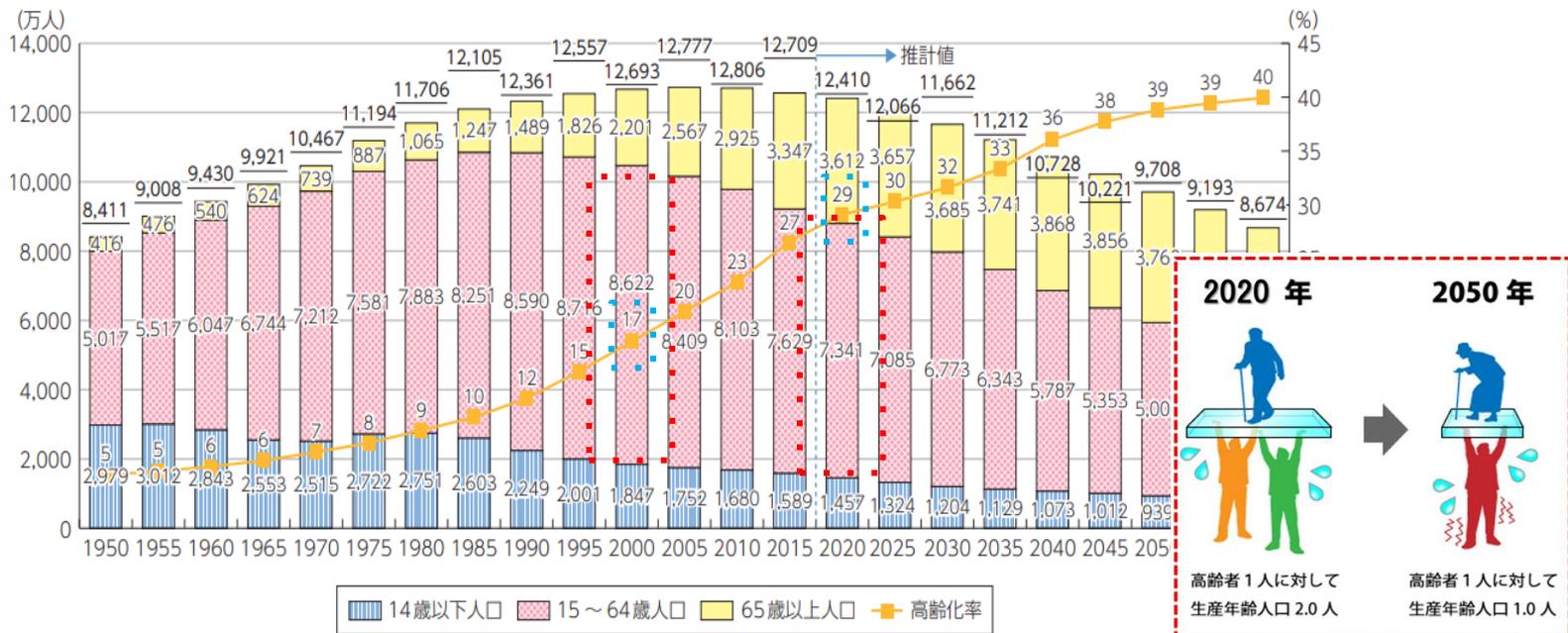
- ※介護保険制度の変化と複雑化
- ※人口構造の変化
- ※競合事業者の増加

このような、事業所を取り巻く変化に対し、
介護サービス事業者は、どのような対策をとっていく必要があるのか・・・

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

1：地域の人口動態

※ **生産年齢人口は減り（↓）、高齢人口は増える（↑）**



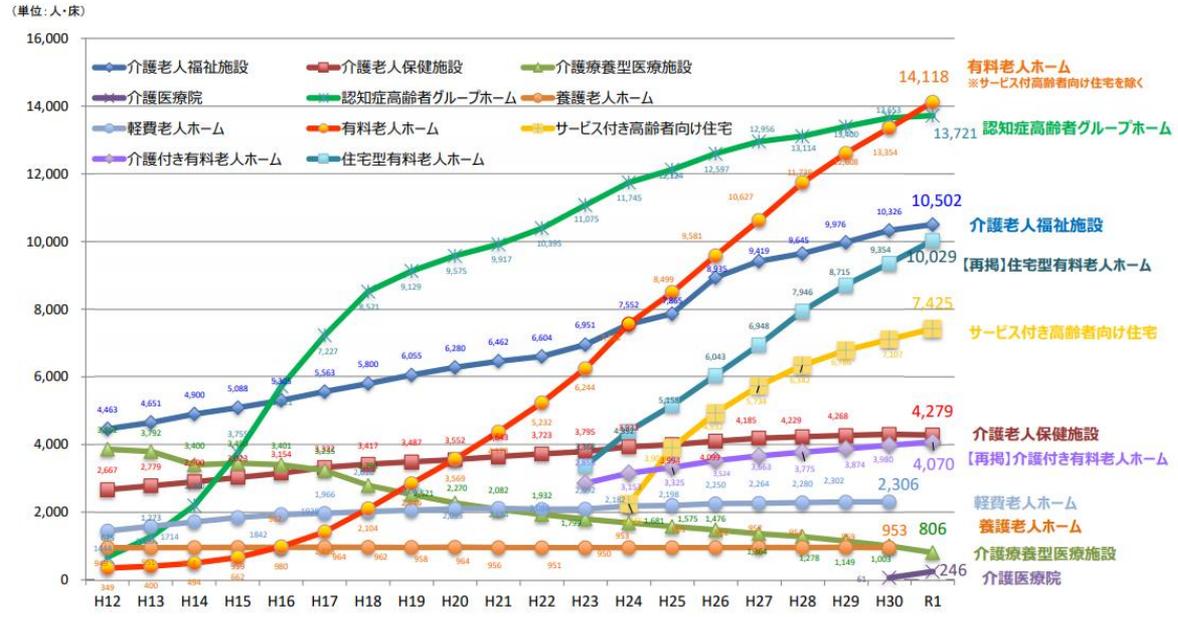
(出典) 2015年までは総務省「国勢調査」(年齢不詳人口を含む)、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」(出生中位・死亡中位推計)

介護事業所が事業成長の為に理解しておくべき マーケティングの「基本プロセス」

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

2：競争社会の現実

高齢者向け住まい・施設の件数

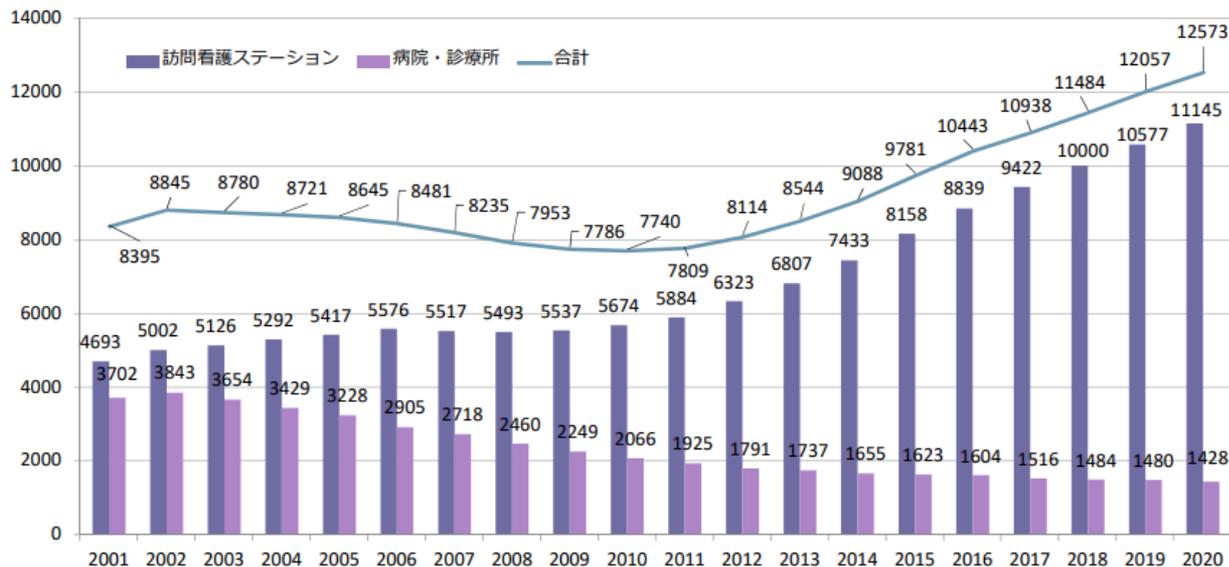


※1：介護保険3施設及び認知症高齢者グループホームは、「介護サービス施設・事業所調査(10/1時点)」【H12-H13】、「介護給付費等実態調査(10/1時点)」【H14-H29】及び「介護給付費等実態統計(10/1時点)」【H30-R1】による。
 ※2：介護老人福祉施設は、介護福祉施設サービスと地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を合算したものである。
 ※3：認知症高齢者グループホームは、H12～H16は痴呆対応型共同生活介護、H17～は認知症対応型共同生活介護により表示。(短期利用を除く)
 ※4：養護老人ホーム・軽費老人ホームは、「社会福祉施設等調査(H30/10/1時点)」による。ただし、H21～H23は調査票の回収率から算出した推計値であり、H24～H30は基本票の数値。(利用者数ではなく定員数)
 ※5：有料老人ホームは、厚生労働省老健局の調査結果(利用者数ではなく定員数)による。サービス付き高齢者向け住宅を除く。
 ※6：サービス付き高齢者向け住宅は、「サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム(R1/9/30時点)」による。(利用者数ではなく登録戸数)

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

2：競争社会の現実

公益財団法人日本訪問看護財団 さんの資料より



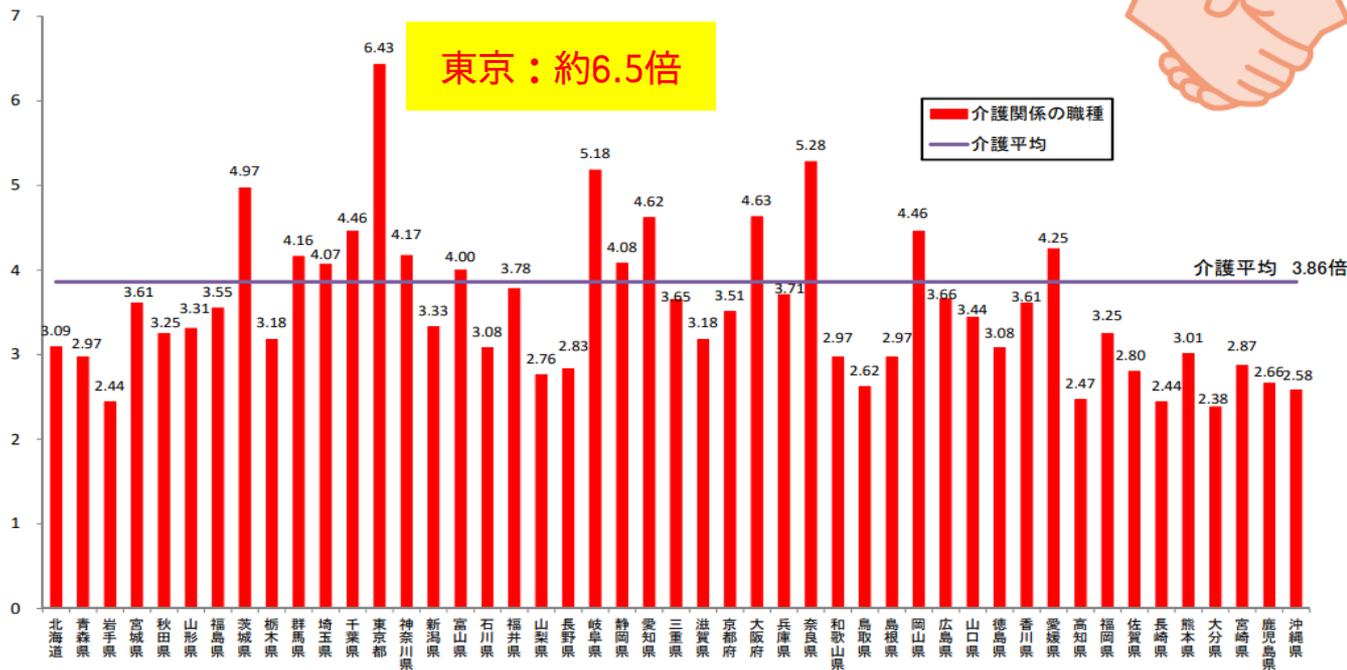
※2020年は7月審査分で表示しています
 ※合計は、グラフ上の合計数を示しています

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

2：競争社会の現実

介護関係職種の有効求人倍率は、**地域ごとに大きな差異があり、特に都市部では高くなっている。**

都道府県別有効求人倍率（令和2年10月）



注1) 介護関連職種は、ホームヘルパー、介護支援専門員、介護福祉士等のこと
 注2) 数値は常用(パートタイム含む)の原数値
 【出典】厚生労働省「職業安定業務統計」

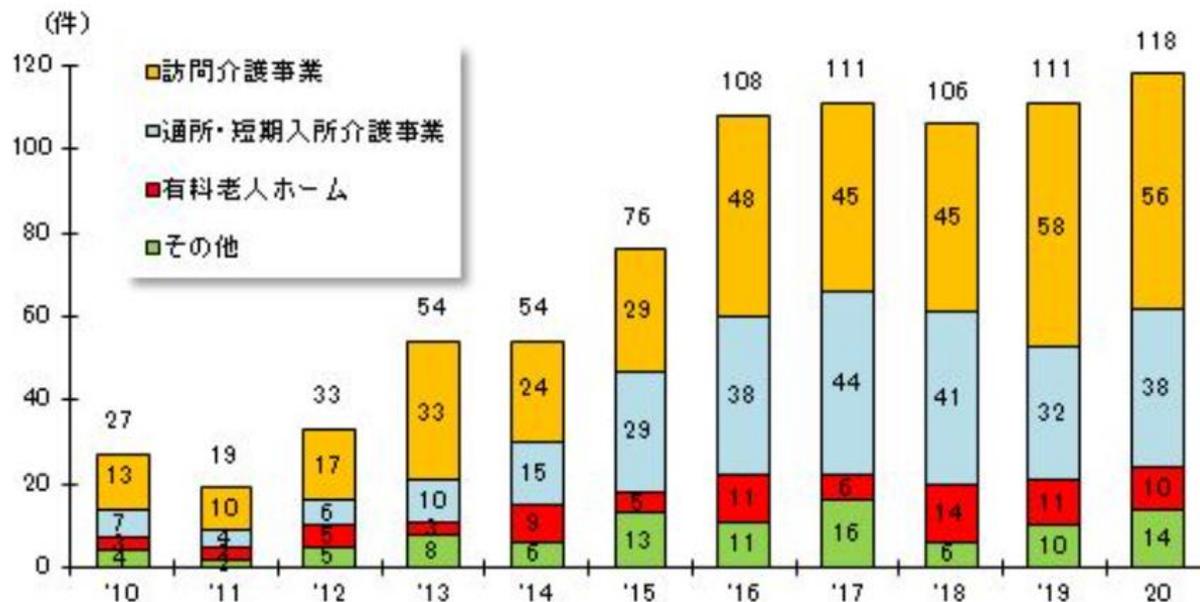
1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

2：競争社会の現実

老人福祉・介護事業者の業種別倒産件数 年次推移

2020年1-10月の
「老人福祉・介護事業者」
の**休廃業・解散が406件。**

倒産以外で
市場から退出する事例も
過去最多ペースで推移。



東京商工リサーチ調べ

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

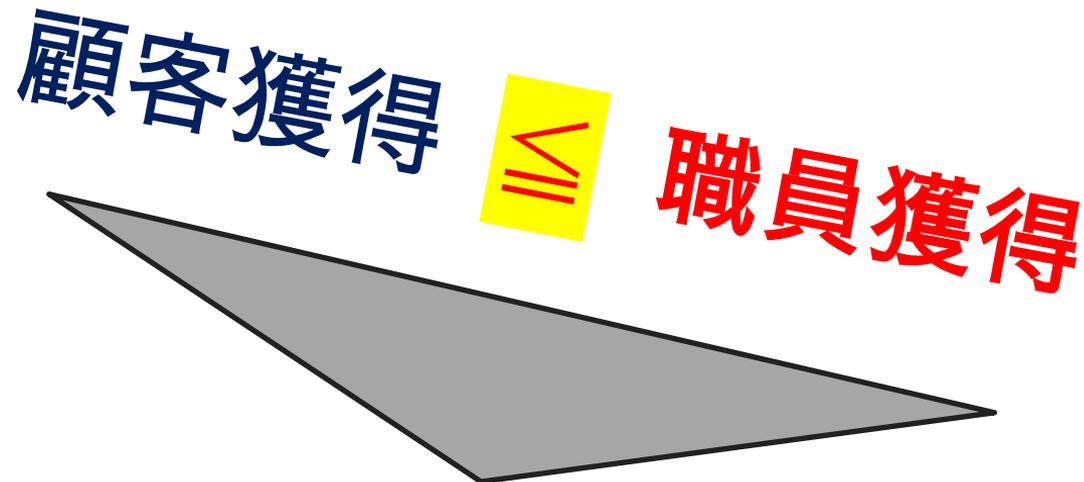
3：差別化と効率化

顧客視点：「サービスの差別化」が図れないと、
選ばない。
より「価値」のあるサービスを選ぶ。

職員視点：「業務の効率化」が図れないと、
選ばない。
より「効率的」に働ける職場を選ぶ。

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

3：差別化と効率化



職員は、どんな職場で「どんな価値」を感じて働きたいと思っているのか・・・
利用者への価値提供の前に、職員への価値提供ができなければならない

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

3：差別化と効率化

介護事業所における、

「業務効率化」って？

「生産性の向上」って？

成果に直結する行動に対して、
コア業務に特化して取り組む
ことが重要。

業務効率化

これまでの業務を
「より早く」
「より低コスト」でする



生産性の向上

「時間当たりの価値」
を高くする

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

3：差別化と効率化

他産業から学ぶ「生産性の向上」の仕組み

「業界以外」の参考事例
〈Suicaの例〉
（電子マネー）の普及

無駄な仕事がなくなった！！

「業界以外」の参考事例

- # 1：都度切符買う
➔ 都度お金をいただく
- # 2：都度切符見せる
➔ 都度切符を確認する

当たり前だった
「切符を買う」
「切符を見せる」行為が
なくなったことで、



15年間で
長期債務は
2兆1800億円
を削減！

生産性は
66.5%増加、
着実に黒字増大

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

3：差別化と効率化

他産業から学ぶ「生産性の向上」の仕組み

「業界以外」の参考事例
〈セルフレジの例〉

無駄な仕事がなくなった！！
「業界以外」の参考事例

- # 1：店員に見せ支払い
➔ 機械でチェック支払う
- # 2：店員ラッピング
➔ 自分でラッピング

当たり前だった「店員が確認」
「店員に支払う」「店員がラッピング」する行為がなくなったことで、生産性が向上！



1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

3：差別化と効率化

「業界以外」の参考例より

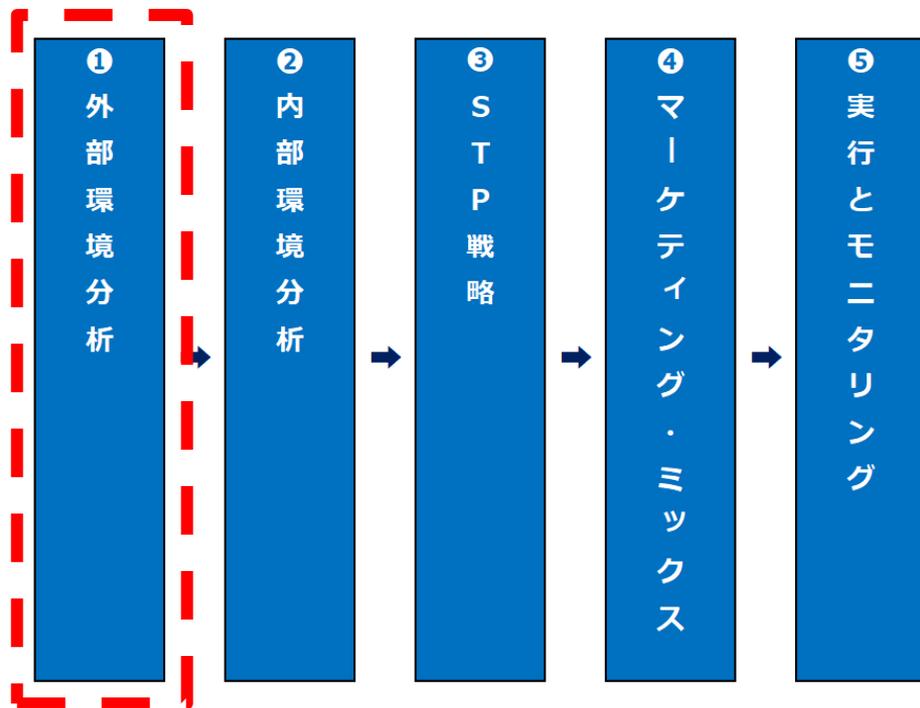
「人でなくても良い業務」は

「人以外」が行える「仕組み」を「構築」することで

「生産性の向上」につなげている！

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

おわりに



1章：外部環境分析

【研修内容目次】

1-1：国が描くビジョンの理解

1-2：時流の理解

1-3：ルールを理解

1-4：地域の理解

1章：外部環境分析編（1-2：時流の理解）

おわりに

下記のプロセス毎に、研修動画をご用意しております。

- 1：外部環境分析編
- 2：内部環境分析編
- 3：STP戦略編
- 4：マーケティング・ミックス編
- 5：実行とモニタリング編

ご視聴ありがとうございました